

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本コンピュータ専門学校	昭和58年10月15日	瓶 井 修	〒533-0014 大阪市東淀川区豊新1-21-22 (電話) 06-7506-9053			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶 井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2-6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	高度情報化社会を根幹から支えるコンピュータシステムの開発エンジニアや多様なビジネスモデルに対応できる人材を育成するために専門的かつ実践的な授業を行い、即戦力として働ける人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	情報処理システム科 Bコース	2年(昼)	1920単位時間 (又は64単位)	平成7年1月23日 文部科学大臣 告示第7号	-
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2550単位時間 (又は単位)	990単位時間 (又は単位)	210単位時間 (又は単位)	2100単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	27人	5人	8人	13人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について年4回実施される定期試験の結果と課題、演習、実習成果等で評価	
長期休み	■学年始め：4月11日 ■夏季：7月21日～8月31日 ■冬季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月20日			卒業・進級条件	試験等に合格し、本校所定の過程を修了した者	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者への連絡し、可能な場合は、三者面談、家庭訪問等を行っている。			課外活動	■課外活動の種類 ジオ・カーニバル、観測実習 ■サークル活動 (有)・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率 <sup>*1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>*2</sup> 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者にに関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	基本情報技術者試験、MOS ORACLE MASTER、情報検定 ITパスポート試験、気象予報士試験	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 0.4%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 27名（平成26年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 26名（平成27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 学業不振、進路変更、学校生活不適應、家庭の事情等</p> <p>■中退防止のための取組 欠席者には、本人と連絡を取り、欠席理由を確認し、欠席が続く場合は、面接等を実施し、学習意識向上させるために目標設定などの指導をしている。</p>
ホームページ	URL://www.ncp.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したか就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体と連携し、最新の知識・技術を反映し、企業ニーズに合う教育カリキュラムや教育内容を設定する。また、教育内容に沿った教材等を開発し授業で実施する。年度内に数回の学生アンケートを実施し、教育カリキュラムや教育内容、教材、教育方法等に問題があるようであれば、職員会議や教育課程編成委員会で検討して、具体的な改善策を検討する。その結果にもとづいて学生との面談を行い、速やかに対応し学習意欲を低下させない工夫をする。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年 3月31日現在

名 前	所 属
瓶井 修	日本コンピュータ専門学校 学校長
西坂 公典	日本コンピュータ専門学校 教務部長心得
小林 一男	日本コンピュータ専門学校 教務課長
芦田 治彦	日本コンピュータ専門学校 主事
三木 喬史	ウェブレイス
小幡 忠信	HISCO (ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合) 理事長
池永 靖	日本気象株式会社 教育事業チーム ティームリーダー
久下 直彦	株式会社アイ・ピー・エス 取締役執行委員
西川 貴史	株式会社セブン
吉村 昌晃	合同会社 翔エンターティメント 代表社員
稲泉 綾二	大阪国際大学 現代社会学部 情報デザイン学科 教授
増南 正	有限会社 スタジオ・マックス 代表取締役

### (開催日時)

第1回 平成27年 8月29日(土) 10:30~12:00

第2回 平成28年 3月19日(土) 10:00~11:30

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と連携し、実習・演習等で実施する内容を打ち合わせし、学校では学べない企業ニーズに即した実習・演習等を行うことができ、より実践的な技術力を養うことを基本方針とする。また、就職活動で実習・演習等を受けたことで優位に働くことを期待する。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ	学校では学べないビジネスマナーや実践的な業務に従事し、社会人としての実践力を身に着けます。	株式会社リングス ウェブレイス 株式会社アップスタート 日本気象株式会社 株式会社ウィズツーワン
オブジェクトプログラミングⅠ	オブジェクト指向プログラミングについて企業ニーズに合わせた言語を使用して基礎から実践的にプログラミングをしていく。現在は、言語に Javascript を使っている。	株式会社アップスタート
気象予報Ⅰ	気象予報に必要な数値予報、短期予報・中期予報、長期予報、局地予報、短時間予報、気象災害などについて学習します。	日本気象株式会社
天体の科学	気象観測や予報を行うために必要な大気の種類、大気の熱力学、降水過程、大気における放射、大気の力学、気象現象、気候の変動などの基礎を学習します。	日本気象株式会社
気象予報Ⅱ	気象予報に必要な数値予報、短期予報・中期予報、長期予報、局地予報、短時間予報、気象災害などについて学習します。	日本気象株式会社

気象観測・予報実習	観測や予報の仕組みを学習し、山や河川、湖、海などで観測、予報実習を行いながら気象予報士資格の学習も行います。	日本気象株式会社
気象法令	気象予報に必要な法律を学びます。	日本気象株式会社
気象観測	気象観測に必要な機器やその観測方法について学びます。	日本気象株式会社

### 3. 教員の研修等

#### (教員の研修等の基本方針)

教育の質向上のために必要な知識・技術・技能などについて該当する担当教員に研修を受けさせ教授力向上と学生指導等の指導力向上に関する研修に参加させ指導力向上を図ることを基本方針とする。研修を受けることで学生の学習意欲の向上を図り、退学者、欠席者をなくし、就職へと導く。

### 4. 学校関係者評価

#### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年 3月31日現在

名 前	所 属
瓶井 修	日本コンピュータ専門学校 学校長
西坂 公典	日本コンピュータ専門学校 教務部長心得
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長
建山 和徳	ウェブレイス 代表
吉村 昌晃	合同会社 翔エンターテイメント 代表社員
久下 直彦	株式会社アイ・ピー・エス 取締役執行委員
増南 正	有限会社 スタジオ・マックス 代表取締役

#### (学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.ncp.ac.jp>

### 5. 情報提供

#### (情報提供の方法)

URL:<http://www.ncp.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			数学	情報処理技術者にとって必要な線形代数、確率・統計の基礎事項 について、高校までの数学を前提とせず、平易かつ具体的な展開 で進めていきます。また十分な演習を行い、IT技術への応用力 を高めることを目的とします。気象予報士コースでは、気象予報 士の資格に必要な知識を学習します。	1通	60	2	○		
○			現代社会論	現代社会のコンピュータシステム事情を学び、コンピュータ上で扱うデータやプログラム等の著作権、意匠権、特許法について学習します。	1通	60	2	○		
○			英語	コンピュータに関する英文の読解力に必要な基礎学力を学習します。この目標を達成するために、英語検定試験問題による演習も行います。	1通	60	2	○		
○			コンピュータ概論	コンピュータの各部分の名称とその役割、そしてそれらの中で何がどう動いているのか、その全体像を把握するために、ハード・ソフトの両面からコンピュータを詳しく学んでいきます。また、国家資格の基本情報技術者試験の合格を目指します。	1通	60	2	○		
○			情報リテラシー	パソコンを有効に利用するためにはどうすればいいかを、その体系と分類について学習する。	1前	30	1	△		○
○			デジタルメディア概論	クラウド・スマートフォンなどコンピュータ関連の最新の技術について学習します。	1後	30	1	○		
○			プレゼンテーション技法	報告、提案の説得技術を学習し、発表の構成の仕方、発表方法について学習します。またプレゼンテーションツール操作の実習も行います。また、就職・編入（進学）のための学習もします。	1通	60	2		○	
○			コミュニケーション技法	社会人として、会議や打ち合わせ、プレゼンテーションにおける話し方や会話の仕方を学習します。実際にディベートや集団面接、討論会などを行います。	2通	60	2		○	
○			アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズムはすべてのプログラムの基礎となるものです。再利用性の高いプログラムを作るため、さらにはコンピュータの思考を理解するために必要な知識を習得します。早く合理的に作業ができる手順を考える思考方法を学習します。また、国家資格の基本情報技術者試験の合格を目指します。	1通	60	2	○		
合計				科目	単位時間( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	実験・実習・
○			アプリケーション構築概論	コンピュータシステムやアプリケーションの開発手法について概観する。ビジネスの場で使用されている IT 戦略とマネジメントについても学習する。	1通	60	2	○		
○			オブジェクトプログラミング I / II	オブジェクト指向プログラミングについて企業ニーズに合わせた言語を使用して基礎から実践的にプログラミングをしていく。現在は、言語に Javascript を使っている。	12通	120	4	△		○
○			卒業研究	個人または、グループで企業ニーズに合ったシステム開発や作品制作を行う。実際に仕様書から設計書を書いて、企業の現場を意識した開発を行っていく。	2通	180	6			○
		○	外国語 I / II	留学生が日本語を学びます。また、英語を選択した学生は英語を学びます。	12通	240	8		○	
		○	物理	力学、力と運動、回転運動と剛体、波動、熱電流と磁場、振動する電磁場などの気象予報士の資格に必要な知識を学習します。	1通	60	2	○		
		○	アセンブラ言語	基本情報技術者試験の午後に出題される言語のひとつであるアセンブラについて学習します。	1前	30	1	△		○
	○		C言語 I / II	システム開発用の基本的な言語であるC言語の基本から応用までを学習する。実際にプログラミングしてみて実機での確認を行うとともに開発力の向上を目指す。	12通	120	4	△		○
	○		Javaプログラミング I / II	Java の基礎から開発手法を学び、JavaApplet、Java サーブレットなどのアプリケーションの開発手法を学びます。	12通	120	4	△		○
		○	Windowsシステム (MCP)	WindowsServer の基本知識からインストールを行い環境設定、ネットワーク設定、セキュリティ設定、サーバ構築などの技術を学びます。	1通	60	2	△		○
合計				科目	単位時間( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	実験・実習・実技
	○		ネットワークシステムⅠ／Ⅱ (CCNA)	サーバ、ネットワーク機器の設定から回線・VPN構築といったインフラまわりまで、止まることのない快適なネットワーク環境を実現するための技術を基本から学ぶ。	12 通	240	8	△		○
	○		データベースⅠ／Ⅱ (Oracle)	大量のデータを管理するのに必須のデータベースについて利用者として必要な概念と、操作方法を学習し、開発者として他のプログラムと連携の基礎知識を学ぶ。	12 通	120	4	△		○
	○		ホームページ制作	HTML5/CSS2/CSS3 を使ってホームページ制作の基礎を学習します。ホームページの仕組みを理解させるためにプログラミング中心で行います。	1 通	60	2	△		○
	○		J a v a s c r i p t	Web ページ内の表示をアニメーションで切り替えたり、ボタンの押下に合わせて表示のオン・オフを制御したりといった「ページ内での動的な表示切り替え」を行いたいような際に使用する技術を学びます。	2 通	60	2	△		○
		○	簡易言語	表を作成し、データの集計や分析を行うことができるソフトウェアを表計算ソフトと呼びます。数値の合計を自動的に計算したり、多数の関数があります。実際にEXCELを使用して表計算ソフトを学習します。	1 通	60	2	△		○
	○		VBAⅠ (Excel)	毎日のパソコン業務には、同じ手順の繰り返しが多いです。そして、単純な繰り返し作業の中にEXCELの関数やマクロを使い定型業務がより早く簡単にできるように学習します。	2 前	30	1	△		○
	○		VBAⅡ (Access)	このVBAの基本や、実際の業務に役立つプログラムの作成方法について学習します。例えば、日報や週報から月報へ自動転記させ、給与システムへの連動データを作成する。小口現金の請求書から仕訳データを作成する一般業務作業の中で作業の自動化を行う。	2 後	30	1	△		○
	○		Webプログラミング	JavaScript や CSS 技術などを含めたホームページの総合的なデザイン、プログラミングについて学習します。ウェブサイト にさまざまな機能や動作や加え、為替や株価といった時刻によって変化するデータや、アンケートやユーザー登録ページといった動きのあるページの作成をするものです。	2 通	60	2	△		○
	○		ビジネスケーススタディ	企業の経営における事例研究であり、実在した企業について調査研究したり、これに基づき学習を行ったりするものです。さまざまな事例を通して経営上の問題分析力・解決力や判断力を養います。事例は、学習用に創作されたものや実際のものなどがあります。	2 通	60	2		○	
合計				科目	単位時間( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	実験・実習・実技
	○		eコマース	e-commerce / エレクトロニックコマースインターネットなどのネットワークを利用して、契約や決済などを行う取引形態のことです。従来から企業間の取引の一部は EDI などの技術を使って電子化されていましたが、インターネットが一般消費者に普及していく社会のしくみを学習します。	2後	30	1	○		
	○		セキュリティ概論	コンピュータ技術者として情報セキュリティ対策をどのように行えばよいか、国際標準に関する知識、ガイドラインなどを学びます。	2後	30	1	○		
	○		ビジネスマナー	ビジネスマナーとは仕事をする上で必要とされるマナーです。この教科では、実社会に出た際に必要となる礼儀作法から、営業先におけるお客様とのコミュニケーションのとりかたなど、実習を交えて学習します。また、ビジネスマナーを学習し、ネットショップ検定についても学習します。	2後	30	1		○	
	○		簿記	企業会計の基礎であるお金の流れを帳簿に記録する技術を取得し、財務帳票を作成する技術を取得する。	1通	60	2	○		
	○		経済学	経済学は、人々がどの程度幸せなのかをものさしを使って測ることで、人々にとってより望ましい行動や社会の制度を比較することができるようになります。行動や制度が比較できるならば、よりよい行動や制度的枠組みを探ることができますこれらの知識や仕組みを学習します。	1通	60	2	○		
	○		ビジネス英語	高校英語の基礎学力を前提にして、ビジネスに必要な聞くことと発音の訓練に重点をおいて学習します。	2通	60	2		○	
	○		ビジネス文書	ビジネス文書の目的は用件を正確・明瞭・簡潔に伝える、そしてよりよいビジネス文書を作成する方法を学ぶ。	12通	120	4		○	
	○		ビジネスアプリケーション	ビジネス用途で広く使用されるアプリケーションを学習します。業務で活用でき作業効率をアップする様々な技術を習得します。代表的なアプリケーションとして、Word、Excelを中心に学習します。また、Microsoft Office Specialist 資格を目指します。	12通	120	4			○
		○	広告デザイン	Word, Excel, PowerPoint などを使って、広告の文字、写真、配置などをより効果的にするためのデザインを学習します。	2通	60	2			○
合計				科目	単位時間( 単位)					



授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	演習・演習・演習
	○		マネジメント	マネジメントの父 ピーター・ドラッカーの考え方を基本とします。人にかかわることとして、人が共同して成果を上げることが可能とし、強みを発揮させ、弱みを無意味なものにするためにどうすればよいかという思考方法を学習します。	2前	30	1		○	
	○		マーケティング	マーケティングとは、「お客様に価値を提供してお金をいただくこと」です。そのために、企業として何をすればよいかを導き出すための手法や考え方を学習します。	2前	30	1		○	
	○		気象法令／気象観測	気象予報に必要な法律を学びます。気象観測に必要な機器やその観測方法について学びます。	12通	120	4	○		
	○		気象予報Ⅰ／Ⅱ／気象災害	気象予報に必要な数値予報、短期予報・中期予報、長期予報、局地予報、短時間予報、気象災害などについて学習します。	12通	120	4	○		
	○		気象観測・予報実習	観測や予報の仕組みを学習し、山や河川、湖、海などで観測、予報実習を行いながら気象予報士資格の学習も行います。	2通	120	4			○
	○		天体の科学	気象観測や予報を行うために必要な大気の構造、大気の熱力学、降水過程、大気における放射、大気の力学、気象現象、気候の変動などの基礎を学習します。	1通	60	2	○		
		○	ウェザーキャスター入門	気象予報士に合格し、将来ウェザーキャスターとして業務を行うために発声や滑舌を訓練し、天気予報のキャスターの訓練を行います。	1後	30	1			○
	○		気象情報システム	屋上に設置してある気象観測システムの観測データをコンピュータシステム上で処理できるように企業システムに近いシステムの設計から制作について学習します。	2通	60	2			○
		○	医療・福祉ビジネス	医療・福祉関連機関における、事務担当者として、基礎的知識と技能を有し、業務を専門的に遂行できる能力を身に着けます。	2通	60	2	○		
合計				科目	単位時間( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	実験・実習
		○	医療・福祉関係法規	「保健・医療・福祉」は基本的には公的なサービスであり、そこには多くの法制度が存在します。実際の現場でよく使われる保健・医療・福祉に関する法制度を取り上げ、そこから事例等もあげて学習していきます。	2通	60	2	○		
		○	医療情報システム	オーダーリングシステムは、主に医師からの検査・処方などに係る業務を担うシステムです。電子カルテは、従来の紙カルテに医師が記録してきた患者の訴え、医師の診断経過や結果、看護記録、検査結果、画像情報、選定医療機関からの紹介状など、対象の患者に付随して発生する診療に必要な諸々の情報を電子的に統合管理・記録する情報システムを指します。医事会計システムは、診療行為に対して患者様への請求金額を計算したり、医療関係者へ提出する診療報酬請求書を作成するシステムです。これらのシステムを実務で使えるように学習します。	2前	30	1			○
		○	医療福祉事務	医療保険請求事務に関する科目と福祉分野の科目を学び、医療請求事務、介護事務のスペシャリストをめざし学習します。	2通	60	2	△	○	
		○	看護・介護概論	看護・介護を必要とする人々との援助関係を基盤に、看護学の知識と技を用いて、個人・家族・地域社会が、それぞれの可能性を最大限に発揮できるような仕組みを学びます。	2通	60	2	○		
		○	病院管理学	医療管理学は、医学の成果や便益を社会に適用する場合に生ずるさまざまな問題を扱います。医療の質向上と効率化、地域医療のシステム化、医療情報システム、医学概論や医の倫理の教育などについても学習します。	2前	30	1	○		
		○	社会福祉援助技術総論	社会福祉サービスとは憲法第25条でいわれる健康で文化的な生活を送るために行う援助のことです。生きがいや質の高い生活を失うことなく社会生活が送れるように、社会福祉サービスが機能するような仕組みを学びます。	2後	30	1	○		
		○	社会福祉概論	私たちが普段の生活において必要な動作（食事や排泄、入浴、移動、寝起など）すべてのこと、そして「食事を食べることができる」や「トイレに行って排泄ができる」、「衣服に着替えることができる」など、「～することができる」の能力についてたくさんの制度があります。これらの制度について学習します。	2後	30	1	○		
		○	心理学概論／医学一般	心理学の基礎から体系的に学び、医療現場での日々の業務を心理学的見地から見直すことができるような思考方法を学びます。	2通	60	2	○		
		○	老人・障害者福祉論	障害者介護というサービス提供や、それぞれの障害の適正にあった介護が提供できるように障害の理解と障害者の理解を行い、障害特性に応じたよりよい介護が提供できるように学習します。	2通	60	2	○		
合計				科目	単位時間(単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	演習	実験・実習・実技
		○	バイオ総論／ 遺伝子工学	生物の持つさまざまな働きを上手に利用し、私たち人間の生活や環境保全に役立たせ方法を学習します。また、遺伝子操作で発酵・品種改良・遺伝子組み換え・クローンについて学習します。	2通	60	2	○		
		○	化学／生物／ 微生物学	遺伝子操作を行うときに必要な科学・生物・微生物について実験を行いながら学習します。	2通	90	3			○
		○	環境マネジメントシステム	組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標について学習します。	2通	30	1	○		
		○	環境概論／環境学	地球上に発生する様々な環境について学習します。自然環境、社会環境、都市環境など、人間の生活を取り巻く環境とその人間、動植物への影響について、物理学、化学、生物学、地球科学、社会科学、人文科学等の基礎科学について学習します。	12通	240	8	○		
		○	環境関係法規	環境保全に従事するために必要な法律について学習します。	2前	30	1	○		
		○	環境機器工学	水質、地質などの環境測定を行うために必要な機器の種類とその測定方法について学習します。	2後	30	1	○		
		○	基礎実験／応用実験	環境測定に必要な知識・技術を身に着けるために各種実験を通して学習します。	12通	120	4			○
		○	無機・有機・分析化学	有機物・無機物を化学的に分析する手法について学習します。	12通	240	8	○		
		○	自然科学Ⅰ／Ⅱ	基本的な物理学、化学、生物学、地学、天文学を学ぶ。	12通	120	4	○		
合計				科目	単位時間( 単位)					

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報処理システム科 Bコース) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						選択必修	自由選択	実験・実習
		○	社会科学Ⅰ／Ⅱ	人類学、考古学、経済学、地理学、歴史学、法学、言語学、政治学の基本を学ぶ。	12通	120	4	○		
		○	英文解釈Ⅰ／Ⅱ	英文で書かれた文学作品、ユース記事を理解するのに必要な英語を学ぶ。	12通	120	4	○		
		○	国語Ⅰ／Ⅱ	ことわざ、慣用句、四字熟語について学ぶ。	12通	120	4	○		
		○	推理科学Ⅰ／Ⅱ	数値を用いて判断する技術、物体の位置・方向・姿勢・大きさ・形状・間隔など、物体が三次元空間に占めている状態や関係を、すばやく正確に把握、認識する技術を習得する。	12通	120	4	○		
		○	演習Ⅰ／Ⅱ	企業ニーズに合った内容の技術習得を演習形式で行います。資格取得対策なども演習形式で行います。	12通	240	8		○	
		○	課題制作Ⅰ／Ⅱ	各コースに必要な技術で企業ニーズに合った課題制作を実施し、就職活動時に有効になるようにする。	12通	240	8			○
	○		インターンシップ	学校では学べないビジネスマナーや実践的な業務に従事し、社会人としての実践力を身に着けます。	2通	120	4			○
合計				科目	5850 単位時間(単位)					